

分からなかったら、教科書で答えや解き方を探すという習慣をつけたい
～教育実習生研究授業事後研での意見交流から～

○ 教科書の問題を学習課題として取りあげた

教科書には、「 $83 \div 17$ 」を例にして、解き方が掲載されている。本時の学習課題の一つに、「 $83 \div 17$ 」を取りあげた。教科書を見て解いている児童がいた。教科書を見ながら解くことは悪いことではない。しかし、教科書と同じ問題を、教科書を見ながら解くと、理解した気になってしまわないだろうか。

○ 教科書を閉じさせて、取り組ませてはどうか、という意見

教科書を閉じて取り組ませるという方法もある。しかし、授業中でも教科書を活用したい。分からない時は、教科書にヒントを見つけるといった習慣をつけさせたいからである。このことは、今後の学習に活かされていく。教科書から学ぶということは大切である。

家庭学習で問題に取り組み、答えが分からなければ、教科書で答えや解き方を探すことになる。この行為そのものが学習である。授業中でも同様である。それならば、教科書を閉じさせて取り組まない方がよい。

分からなかったら、教科書で答えや解き方を探すという習慣をぜひ身につけさせたい。

○ 教科書とは少し違う学習課題を用意する 例 「 $74 \div 18$ 」

そのためには、教科書と少し違う学習課題を用意すればよい。本時の授業で言えば、例えば、 $74 \div 18$ である。

「分からない人は教科書を見てもいいよ」とか、「教科書にヒントがあるかも」とかいった指示があってもよい。これは、まさしく「教科書を教えるのではなく、教科書で教える」である。